

## 科目概要

科目名	総合特別講義VI「クラウドファンディング実践講座」(前学期)
授業内容 と方法	<p>近年、新しい資金調達の方法として「クラウドファンディング」が注目されています。クラウドファンディングは、「群衆 (Crowd)」と「資金調達 (Funding)」を組み合わせた言葉で、インターネットを通じて不特定多数の人に資金提供を呼びかけ、趣旨に賛同した人々から資金を集める仕組みです。</p> <p>本科目では、地域が抱える課題の解決をめざし、クラウドファンディングを活用した新たな資金調達の方法を学びます。具体的には、商品開発やサービス提供などを題材に、事業プランづくりの基本的な考え方と手順を身につけます。</p> <p>授業を通して、地域づくりのコンセプトの考え方、事業プランの組み立て方、ソーシャルメディアを用いた情報発信の戦略などを学び、最終的には受講生一人ひとりが、自分たちのクラウドファンディング企画を立ち上げられるレベルを目指します。</p> <p>また、学内教員による講義に加えて、県内でクラウドファンディングを運営する団体や、プロジェクトのコーディネートを担うキュレーターを講師として招き、実践的なプロジェクト立ち上げのノウハウを学びます。成功事例・失敗事例の両方を取り上げるとともに、キュレーターに求められる視点や役割についても理解を深め、クラウドファンディングを使いこなす力を養います。</p> <p>さらに、地域課題に関する事例だけでなく、他分野の多様なプロジェクトも扱い、学生と実務家・社会人が相互に交流しながら学べる場とします。授業は、学生と社会人が混成グループでディスカッションやワークに取り組むアクティブラーニングを基本として進めます。</p>
授業計画	<p>□Zoom を用いたオンラインに発表会 (対面) を加えたハイブリッド型授業です。 □グループのコミュニケーションツールとして「Slack」を用います。</p> <p>① 4月25日 (土)【第3時限～第5時限】 第1回 オリエンテーション (シラバスの解説、遠隔授業ツールの解説)、受講生のアイスブレイク 第2回 クラウドファンディングの国内外の潮流、沖縄における地域課題の探索と新たな資金調達の方法 第3回 学生によるクラウドファンディングの取組事例、チームビルディング</p> <p>② 5月23日 (土)【第3時限～第5時限】 第4回 初めてのクラウドファンディング 第5回 クラウドファンディング実践事例-1 第6回 プロジェクトの作成①</p> <p>③ 6月14日 (日)【第3時限～第5時限】 第7回 プロジェクトの作成② 第8回 クラウドファンディングの共感を呼び込む SNS の活用法 第9回 クラウドファンディング実践事例-2</p> <p>④ 7月11日 (土)【第3時限～第5時限】 第10回 提案事業の検討① 第11回 提案事業の検討② 第12回 プレゼンテーション準備①</p> <p>⑤ 8月1日 (土)【第3時限～第5時限】※対面授業 (発表会) 第13回 プレゼンテーション準備② 第14回 提案事業のプレゼンテーション 第15回 講評と総括、授業の振り返り</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究共創機構が取り組む社会人向け科目履修プログラムとして、自治体、NPO 法人や企業等の社会人に本プログラムを提供します。</li> <li>・本科目は「初級地域公共政策士」資格取得のための履修証明プログラムの対象科目 (選択必修) です。</li> </ul>